

令和8年3月11日

令和7年度第12回理事会議事録

日 時：令和8年3月11日（水） 19時00分～21時00分

会 場：大阪府中央区本町4丁目6番17号 IS本町ビル5階 当法人主たる事務所

出席者：射場理事長、本田副理事長、鈴木副理事長、都留理事、中野理事、辻畑理事、田籠理事、工藤理事、元石理事、神尾監事、青木監事、高尾局長、黒澤局長、河西局長、辻岡局長

欠席者：千葉監事、東藤局長

総務部：天野、日原

書 記：天野、日原

令和7年度第12回理事会議題

(1) 承認事項

ア 令和7年度第11回理事会議事録

資料参照のうえ、承認された。

(2) 報告事項

ア 理事長活動報告

射場理事長より資料に基づいて報告があった。追加分の活動報告や質疑等はなし。

イ 各理事活動報告

本田副理事長、鈴木副理事長、中野理事よりそれぞれ1月～3月の活動についてアンケート結果に基づいて報告があった。

また今後の報告には理事会への出席も活動に含め、次年度より3ヶ月に1回報告する。

ウ 各局事業進捗

各局より資料に基づいて報告があった。

高尾局長（事務局）より事務局の一本化とドライブ運用について、資料提出や共有をGoogle Workspaceのドライブに一本化したい旨の報告があった。現在は事務員を経由してメールで提出しているが、会議の結果、今後は各理事が直接指定のドライブへアップロードする運用へ変更となった。今後、事務局側で各部局へ事業進捗のフォーマットを用意し、そこに更新・承認を行っていく流れとする。また理事の活動報告と経費精算（旅費等）の紐付けを明確にするため、エクセル等のシートに各自入力してもらう形式の検討がされていることも報告された。その際に研修部の活動報告に関してオンライン活動やメールでのやり取り等、日時の特定が難しいものも「どの事業に対する活動か」を重視して記載していただく方針となった。

また、議事録の公開範囲について、現在はホームページ上に議事録の本文のみ公開しているが、活動報告の詳細などは公開されていない。透明性を高めるために資料（議案

書)を再度公開するか検討することとなった。

事業達成率は、3月末締め作業(会議費・謝金等)が残っているため、現時点では一部を100%にせず計上している状態であり、次回の報告ではすべて100%となるよう進めることが合わせて報告された。

辻岡局長(教育局)より資料に基づいて報告された。射場理事長より、新人症例発表会での予算(会場費)について、謝金支払いと併せると厳しい運営を行っている理由について質問あり。元石理事より、南支部・東支部は無料での養成校利用、中支部がWEB開催のため執行額が抑えられており、北支部・2年後からの東支部の会場確保が喫緊の課題である他、当日運営スタッフの減員、謝金算出を意図した協力時間の制限が生じており、演題数が各支部とも増加した中で、スタッフ数・時間の制約が重なったことが説明された。また、会場については将来的な運営を考え、病院の講堂利用の可能性などを理事レベルで支援・検討していく必要があることが確認された。

河西局長(生涯学習局)より資料に基づいて報告があった。田籠理事より、第3回3士会合同研修会の開催報告として、PT26名(申し込み30名)、OT20名、ST12名が参加し無事終了した。第4回(府民公開講座)は9月27日に開催予定であることが報告された。

黒澤局長(情報管理局)より資料に基づいて報告があった。センター活動のSNSやホームページを通じた研修会等の広報を継続。また昨年度に作成したセンター局員のGoogle Workspaceのアカウント作成および管理を推進すると報告があった。

エ 令和8年度年間スケジュール

都留理事より資料に基づいて報告があった。例年の変更点として、8月はお盆の時期を避けるため通常の第2火曜日から第3火曜日である8月18日に理事会および合同会議を開催する。総会日程等も資料の通り決定したと報告があった。また鈴木副理事長より新人ガイダンスの詳細について質問があった。都留理事より開催日と会場(大阪国際交流センター)は決定しているが、詳細は未定。センターとしては、現時点では今年度同様に理事長のみ挨拶を行う予定。当日に研修集会等の広報をする場合は、後日府士会と調整を実施する。

オ 臨床認定カリキュラム教育機関(臨床教育)の申請結果について

田籠理事より資料に基づいて報告があった。射場理事長より「必須科目と選択科目の開講期間が重複している」と協会から指摘されている件については調整するように指示あり。

カ 現在の更新ポイント取得状況取得状況について

田籠局長より資料に基づいて報告があった。2025年12月会員マイページでの案内、更新対象者へのEメール、2026年1月認定・専門理学療法士取得者へのEメールを実施。その後、1月末に日本理学療法士協会から生涯学習制度の改定に関する案内があり、センターからも会員マイページにてお知らせしたことが報告された。現在、更新対象者のうち、意識の高い層はポイント取得が進んでいるが、依然としてゼロポイントの層(約1,000名)も存在する。制度見直しにより、ポイント取得期限が3月末まで延長。未完了者への猶予措置(2年間)も活用しながら、ポイントに応じたリマインドメールの送付

や、大阪学会での相談窓口設置などの促進活動を行う。また射場理事長より、次年度開催予定の7月5日（日）大阪学会、8月30日（日）第8回生涯学習研修集会（バーシク）、1月24日（日）第8回生涯学習研修集会（アドバンス）、3月28日（日）第66回近畿理学療法学会（大阪）への参加につながるよう広報活動を継続して行なう方針となる。

キ 非営利団体向けデザインツール「Canva for Nonprofits」の導入について
辻畑理事より資料に基づいて報告があった。非営利団体向けプランが承認され、これまで有料だったものが50名まで無料で利用可能になった。センター内でのデザインの統一感を持たせるためにも活用を検討する。

（3）審議事項

ア 『弔事に係る対応について』の内規変更について

都留理事より資料に基づいて説明があった。前回の理事会ならびに合同会議において、センターとしては弔事に係わる対応について弔慰金（香典含む）の支出を行わないことが合意形成された。上記方針を踏まえ、内規改正案について審議され、事務連絡を迅速化するため、事務局長を介さず直接事務局担当理事へ連絡する流れに変更する。審議の結果、承認された。

イ 2026年度市区町村「主催」研修会の承認について

中野理事より資料に基づいて説明があった。12件の申請あり。審議の結果、承認された。

ウ 研究支援のニーズに関するアンケート調査について

田籠理事より資料に基づいて報告された。理事よりアンケート内容が詳細になりすぎているため、まずはセンターとして支援が可能な範囲でアンケートの目的を明確に示しアンケートの作成を行うこととなった。審議の結果、継続審議とされた。またアンケートの実施方法にも検討が必要であると追記された。

エ 大阪府理学療法学会における優秀演題賞・選出手順について

元石理事より資料に基づいて報告があった。運用方法は審議の結果当日に臨時理事会を開催し、受賞者を決定・承認する運用となった。優秀演題については「10年以内」という年齢制限を撤廃し、全体の「最優秀賞」「優秀賞」のほか、若手向けの「奨励賞」などを設置する方向で規程を再考する方針となった。また今大会は前回大会の表彰もかねているため37回と38回の表彰を分けて行うよう、当日のスケジュール調整を行う。審議の結果、継続審議となった。

オ 令和8年度（2026年度）予算変更に関する件（Zoom利用料の計上）

辻畑理事より資料に基づいて説明があった。今回NPO割引の適用が認められなかったため、通常予算内（約20万円強）で更新手続きを進めていく方針でアカウント数の精査も併せて行うこととなった。審議の結果、承認となった。